

研究課題名 (承認番号)	ステント内再狭窄に対するパクリタキセル溶出型バルーンの長期有効性および安全性についての検討 (承認番号 2017-78 番)
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 循環器内科 氏名 倉林 学
研究期間	(西暦) 2018年 1月 ~ 2020年 3月
研究の意義・目的	冠動脈内にステントを留置した後に、ステント内が再度狭くなること(ステント内再狭窄)が時に起こります。ステント内再狭窄に対して、動脈硬化を抑える薬を塗ったバルーン(パクリタキセル溶出型バルーン)で治療することが多いですが、その治療の効果や安全性について調べるのが研究の目的です。
研究の方法 (対象期間含む)	この研究では、当院でステント内再狭窄に対してパクリタキセル溶出型バルーンを用いて治療をした患者さんの診療録を評価して、治療の有効性や安全性を調べます。  (対象期間：2014年1月から2016年3月まで)
試料・情報の 他の研究機関への提供 及び提供方法	診療のカルテより、患者さんの背景、カテーテル所見、臨床経過などのデータを収集して、そのデータの個人情報を匿名化したうえで、電子データにして、当院より東京医科歯科大学循環制御内科学教室に提供され解析を行います。
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	研究機関：東京医科歯科大学循環制御内科学 責任者の氏名：足利 貴志
個人情報の取り扱い	この研究の対象患者の診療録から得られる個人情報は匿名化された情報にして、本研究において得られたすべての情報は研究成果の報告を含め、提供者の実名及び患者のプライバシーに関わる内容は一切公表しないこととします。尚、患者情報データにはパスワードを設定し、アクセスを制限します。以上の方法で本研究において対象となる患者様の人権擁護を行います。
問合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 循環器内科 氏名 倉林 学 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) FAX:045-628-6101